

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(5)	身体拘束に該当する行為、対応方法について定期的に学ぶ機会を得ているが、施設の取り組みをもっと外部へ発信する事が課題。	運営推進会議で身体拘束適正化検討委員会を開催する。	身体拘束に該当する事ばかりを検討するのではなく、様々な取り組みを行った結果、身体拘束を行っていない取り組みについて協議し、発信していく。	2ヶ月
2	(10)	介護計画の作成にあたり、職員への聞き取りと家族への聞き取りの比重を見ると家族の意向の汲み取りが弱い。	アセスメントシートの更新に注視し、より現実に対応したケアプランの作成に努める。	職員からの聞き取りはもちろん、家族との情報共有を密にし、ケアプランに沿って、統一したケアを行えるようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。